

実績確認概要書

平成 27 年 11 月 10 日

ビューローベリタスジャパン株式会社

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	工場におけるボイラー更新および照明設備更新による CO2 排出削減事業																							
承認番号	KC1344																							
排出削減事業者名	高島晒協業組合																							
排出削減共同実施事業者名	一般社団法人低炭素投資促進機構 (その他関連事業者名：なし)																							
事業実施場所	高島晒協業組合工場 (住所：滋賀県高島市新旭町旭 1411 番地)																							
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 既存のボイラーを高効率のボイラーに更新することでエネルギー使用量を削減し、CO2 排出量を削減する。 既存の照明設備を高効率照明設備に更新することで、照明の電力使用量を削減し、CO2 排出量を削減する。 																							
排出削減量の計画	1.ボイラー更新 <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>排出削減量(tCO2/年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2012 年度</td><td>54</td></tr> <tr><td>2013 年度</td><td>164</td></tr> <tr><td>2014 年度</td><td>164</td></tr> <tr><td>2015 年度</td><td>164</td></tr> <tr><td>2016 年度</td><td>164</td></tr> <tr><td>2017 年度</td><td>164</td></tr> <tr><td>2018 年度</td><td>164</td></tr> <tr><td>2019 年度</td><td>164</td></tr> <tr><td>2020 年度</td><td>110</td></tr> <tr><td>合計</td><td>1,312</td></tr> </tbody> </table>		年	排出削減量(tCO2/年)	2012 年度	54	2013 年度	164	2014 年度	164	2015 年度	164	2016 年度	164	2017 年度	164	2018 年度	164	2019 年度	164	2020 年度	110	合計	1,312
年	排出削減量(tCO2/年)																							
2012 年度	54																							
2013 年度	164																							
2014 年度	164																							
2015 年度	164																							
2016 年度	164																							
2017 年度	164																							
2018 年度	164																							
2019 年度	164																							
2020 年度	110																							
合計	1,312																							

	(事業実施期間合計 1,312 tCO ₂)																						
	2.照明更新																						
	【限界電源炭素排出係数使用】																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>排出削減量(tCO₂/年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2012 年度</td><td>10</td></tr> <tr><td>2013 年度</td><td>30</td></tr> <tr><td>2014 年度</td><td>27</td></tr> <tr><td>2015 年度</td><td>24</td></tr> <tr><td>2016 年度</td><td>24</td></tr> <tr><td>2017 年度</td><td>24</td></tr> <tr><td>2018 年度</td><td>24</td></tr> <tr><td>2019 年度</td><td>24</td></tr> <tr><td>2020 年度</td><td>18</td></tr> <tr><td>合計</td><td>205</td></tr> </tbody> </table>	年	排出削減量(tCO ₂ /年)	2012 年度	10	2013 年度	30	2014 年度	27	2015 年度	24	2016 年度	24	2017 年度	24	2018 年度	24	2019 年度	24	2020 年度	18	合計	205
	年	排出削減量(tCO ₂ /年)																					
	2012 年度	10																					
	2013 年度	30																					
	2014 年度	27																					
	2015 年度	24																					
	2016 年度	24																					
2017 年度	24																						
2018 年度	24																						
2019 年度	24																						
2020 年度	18																						
合計	205																						
(事業実施期間合計 205 tCO ₂)																							
【全電源炭素排出係数の場合(参考値)】																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>排出削減量(tCO₂/年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2012 年度</td><td>8</td></tr> <tr><td>2013 年度</td><td>24</td></tr> <tr><td>2014 年度</td><td>24</td></tr> <tr><td>2015 年度</td><td>24</td></tr> <tr><td>2016 年度</td><td>24</td></tr> <tr><td>2017 年度</td><td>24</td></tr> <tr><td>2018 年度</td><td>24</td></tr> <tr><td>2019 年度</td><td>24</td></tr> <tr><td>2020 年度</td><td>16</td></tr> <tr><td>合計</td><td>192</td></tr> </tbody> </table>	年	排出削減量(tCO ₂ /年)	2012 年度	8	2013 年度	24	2014 年度	24	2015 年度	24	2016 年度	24	2017 年度	24	2018 年度	24	2019 年度	24	2020 年度	16	合計	192	
年	排出削減量(tCO ₂ /年)																						
2012 年度	8																						
2013 年度	24																						
2014 年度	24																						
2015 年度	24																						
2016 年度	24																						
2017 年度	24																						
2018 年度	24																						
2019 年度	24																						
2020 年度	16																						
合計	192																						
(事業実施期間合計 192 tCO ₂)																							
国内クレジット認証 期間	開始予定日 2012 年 12 月 1 日 終了予定日 2020 年 11 月 30 日																						
排出削減方法論	方法論番号 001 「ボイラーの更新」 方法論番号 006 「照明設備の更新」																						

2. 本実績確認の対象期間

2013 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日 (第 2 回目実績報告)

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	540 tCO ₂ (2013年4月1日～2015年3月31日)
-------	--

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること	1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 2 回目の実績確認のため「該当なし」 2) 対象期間中の設備稼働確認 導入したボイラー設備は実績確認の期間中継続的に稼働していることを、「本実績報告対象期間におけるボイラー日報集計表」および「照明関係モニタリング資料」により確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	1) モニタリング方法の確認 ・ボイラー更新 関係者への質問、ボイラー画面の計測器による測定記録（ボイラー日報集計表）の確認等により、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画通り、A 重油使用量のモニタリングが実施されていることを確認した。 ・照明設備更新 関係者への質問、照明設備稼働時間算出の測定記録（照明関係モニタリング資料）の確認等により、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画通り、電力使用量のモニタリングが実施されていることを確認した。 2) 活動量の正確性 ・ボイラー更新関係者への質問、ボイラー日報集計表の測定記録等の確認により、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画通り、A 重油使用量の記録・保存が適切になされており、正確に集計されていることを確認した。 ・照明設備更新

	<p>関係者への質問、照明関係モニタリング資料の測定記録の確認等により、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画通り、電力使用量算出の記録・保存が適切になされており、正確に集計されていることを確認した。</p> <p>3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 使用されている単位発熱量、排出係数等が、J クレジット制度モニタリング算定規程（排出削減プロジェクト用）Ver. 2.2 及び承認排出削減事業計画通りであることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量の算定結果を根拠資料と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認した。</p>
<p>算定期間が 2020 年 10 月 21 日を超えないこと</p>	<p>本実績確認の対象期間は、2013 年 4 月 1 日から 2015 年 3 月 31 日までであり、排出削減量を算定した期間が 2020 年 10 月 21 日を超えないことを確認した。</p>

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価（該当する場合）
なし

6. 特記事項

確認した排出削減量に相当する省エネルギー量について、原油換算 164.3KL であることを確認した。

以上